

精神障害者支援に尽力

県保健福祉大会 27人3団体表彰

精神障害者への支援で表彰を受ける
功労者



第57回県精神保健福祉大会（県精神保健福祉協会主催）が7日、岡山市内であり、精神障害者の支援に尽力してきた医療従事者や家族会のメンバーら27人・3団体が表彰された。

関係者約200人が出席。同協会の藤田健三会長があいさつで、不登校や引きこもりなどの問題に触れ「精神的医療だけでなく社会的な支援につなげるためにも、関係者同士の連携を大切にしていこう」と述べた。

知事、県保健福祉部長、同協会長の各表彰

があつたほか、県立大保健福祉学部の周防美智子准教授が中高年の引きこもり問題をテーマに講演した。

主な受賞者は次の皆さん。（敬称略）

- 知事表彰 沖島淑榮（高梁市）福森淳哲（岡山市）藤井紀男（総社市）守脇安子（真庭市）
- ▽県保健福祉部長表彰 青江豊重、石原修身、谷原弘之（岡山市）井上恵子（倉敷市）大石信子（総社市）古村道夫（矢掛町）横山佳弘（真庭市）渡部嬉美子（高梁市）岡山市精神障害者家族会連絡会、笠岡市すみれ会家族の会

（太田孝一）

（C）山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。